

益田市道の駅整備基本構想（案）パブリックコメント実施結果について

公募期間 平成29年7月6日から平成29年7月26日まで  
 提出者数 26名（持参9名、メール10名、郵送1名、FAX6名）

※ ご意見については、「1.コンセプト」、「2.候補地」、「3.機能・施設」、「4.ワークショップ・市民アンケート等」、「5.事例調査」、「6.運営・経営」、「7.他の計画との関わり」、「8.事業そのもの」、「9.その他」に関することに区分させていただくとともに、基本的にいただいたものをそのまま掲載させていただいております。

1.コンセプトに関するもの

ご意見の内容	市としての考え方
<p>・総括として書いてあることについて、益田市の食という言葉があるが、道の駅に出店することを考えると一年を通して出せる益田の特色のある食べ物を提供できる状況なのか。もともと、益田を代表する食材はいくつかあるが、それをういて提供できる料理は記憶にない。実際存在しないためこれから作るのであればここに載せるべきではない内容と考えられるし、道の駅の設置までには間に合わない可能性もあるのでは。</p> <p>・質問⑥整備コンセプト（2-4）の主要なターゲット層（男女、世代、どこの住民なのか等々）が記載されていませんが、どのような人々が利用の中心となると考えるのか？その人々に、どのようなサービスを提供する考えなのですか？</p> <p>・外来者の期待があるが、益田市には外来者等呼び込む、食については・・・、物品については・・・、観光なら・・・と、外部に対し誇れるものがあるのだろうか？（高速を降りてまで行く、「食」「物品」「観光」）</p> <p>・「道の駅に期待される役割」として「次世代人材の育成」を挙げてあるが、食農教育や6次産業化を図る「邑南町立食の学校」のような施設なら該当しますが、「道の駅」に人材育成の役割を求めるのは筋違いではないでしょうか。市のさまざまな行政計画を実現させるために、なんでもかんでも「道の駅」に期待をかけるのは無理があるように思えます。整備目的はだれもが納得できるものに絞るべきではないでしょうか。</p>	<p>コンセプトに関しましては、基本構想案2-10ページにおいて設定をさせていただいております。これは、市民アンケート、ワークショップ等におけるご意見を参考に、益田市道の駅整備検討委員会において、検討・設定を行ったものです。</p> <p>今後、このコンセプトを基に、道の駅に持たせる機能、整備する施設、建設場所等について、今後実施を予定する道の駅整備基本計画等において、この度いただきましたご意見を参考にさせていただきながら、具体的な検討を行ってまいります。</p>

2.候補地に関するもの

ご意見の内容	市としての考え方
<p>・自治体は、市民の生命と財産を守ることが最重要である。まず、ライフラインの整備が第一である。自然災害にあったとき、被害が起こりえない（少ない）と考えているのか。河川も至る所に土砂が堆積し、山となり、川の流れを妨害しているところも見られ氾濫の恐れはないのか。救急病院の医者が少なく、かつ救急車であり病巣の見落としもあり、益田の医者は信頼できない。</p> <p>・北朝鮮のミサイルの発射状況の報道も多くやっている中、益田市は、その対応策もしていない。不測の事態があった場合どうなるのか。独居老人・車椅子の人・寝たきりの人・学校へ通う子供たち・・・あたふたし、騒然となることが目に浮かぶ。</p> <p>・アクセス性の評価について、概ね気になるところはないが、最終的なアクセスは道路がどこに通るかが確定しないと評価するのは難しいのでは。</p> <p>・連携性の評価について、自転車コースとあるが、I N A K Aライドのルートのみなら評価に入れる意味がないと考える。基本国道は危険が伴うためサイクリングロードとしては整備されていない限り優先されるべき項目ではないのでは。</p> <p>・眺望性の観点について田園風景は道の駅建設した際にはなくなる可能性があるのではないかと。また、遺跡についても現段階で何かあるのか。工業高校跡地についても市内が眺望できる可能性があるのではないかと。</p> <p>・万葉公園との連携性の評価が道の駅に必要なか。</p> <p>・環境性の評価について、防災拠点化の観点は道の駅建設によって変わるのではないかと。</p> <p>・津波被害についても評価があるが、どの程度の津波かによって状況が変わるが、④、⑤、⑥、⑦は満点で安全といえるのか。また、最近の状況を見ると洪水被害と同じ係数である必要があるのか。</p> <p>・洪水被害について道の駅建設地についてのみ考えるのではなく、その周りの道路の状況によって二次災害（冠水によるなど）考慮しているのか。最近の状況を見ると重点的に考えたほうが良いのでは。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害について工業高校跡地について地すべり区域隣接とあるが、それについて被害が数年来出ているのか。バイパスの土砂崩れを考慮したのであれば、同じ沿線上的ものも同じ評価にする必要があるのでは。跡地については安定した状態で今まで建物が立っていたので問題ないのでは。</li> <li>・行政上の観点について、敷地造成の必要性の評価について軟弱地盤に対する杭の埋設も含まれるのか。</li> <li>・接道の条件は二項目しかないのに係数をかけすぎではないか。工業高校跡地については益田道路沿いと考えられないのか。また、建設した時には道路状況が変わってくるのではないか。</li> <li>・下水道の評価については、（将来）とあるもので最高点がついているのは今までの評価の状況を考えて理解に苦しむ。</li> <li>・総括として、5つの候補地が残っているが、災害などを考慮するにあたり、防災士の方などに相談してできたものなのか。同じく地質状況を考えるのも市内に在住の地質学者の方などに相談してできたものなのか。</li> <li>・意識的かどうかは不明だが、最終選考に候補地が同じような場所に集まっている原因はなにかあるのか。評点や係数の結果を見る限り意図的に数字を調整したようにも見える。</li> <li>・まだ図面も完成にできてない状況で最終的な候補地を決めるには時期尚早ではないか？</li> </ul> <p>・候補地エリアに施設ができたときに日常の交通が増えて生活に影響が出ないか心配。混むのは嫌だ。久城北側にできたときには中須方面につながれば便利はよくなりそう。</p> <p>・低い土地でも防災施設として周囲の人のための避難場所をつくるという点ではいいことなのではないだろうか。</p> <p>・1カ所としなければならないのか。建物が1000平米程度で駐車場も同じくらいの大きさを使うと、益田市には不釣り合い。現在あるショッピングセンターを見ても、どこの地域でのみられる風景になっている。また、これらの商業施設にも影響を及ぼそうで心配。</p> <p>・高評価点の提案は、単体型と推測され市負担額1～2億数千万円あり、市負担額が高すぎる。</p> <p>・高速道路開通を見込んで一般道に「道の駅」を設置したケースはありますか。発着地点となるならわかりますが、通過点において新たに設置した例はあるのですか？</p> <p>高速道ができたため、ガソリンスタンド同様、一般道の「道の駅」が衰退していくケースも多いと聞きます。高速道からも一般道からもアクセスできる「道の駅」でなければ生き延びられないのではないですか。一般道だけからしか利用できないような「道の駅」でいいのですか。この観点からいえば、3つの候補地全部が不適となりますが、どう考えているのですか。</p> <p>・市長公約の「防災機能」の観点からいえば、土地区画整備事業地の候補地は失格。公約実現はどうするのですか？</p> <p>・市民アンケートでも人気度が高いのは「阿武町（奈古）」「キララ多伎」、「萩シーマート」。海辺の景観の良さに人気が集まっています。景観を抜きにしては近隣の道の駅には太刀打ちができないのでは。3候補地のいずれも海辺に面していず、人気上位の道の駅より景観的魅力は劣ります。景観面から集客に自信がありますか。</p> <p>・基本構想で候補地を一本に絞る予定だったと聞いていますが、絞り切れていません。絞られた3候補地ともハードルが高いようですが、今後どのようにして一本化を図っていくのですか？</p> <p>・山陰道三隅益田道路からの流れを考慮して益田市内だけでなく、遠方からの人が訪れやすい場所を選定してほしい。</p> <p>・一般道からも高速道からも利用できる立地が良い。</p> <p>・人気が高い道の駅は景観だけではなく、それぞれ特色を出しているからだと思う。道の駅に景観を当てて来る人は少ないと思う。</p>	<p>候補地に関しては、益田市道の駅整備検討委員会において、評価項目、評価指標、評価基準等について様々なご意見をいただきながら検討・設定を行ったものです。</p> <p>整備検討委員会からは、道の駅における防災機能の明確化について、付帯意見としていただいているところです。</p> <p>単なる災害時の避難の拠点としてのみならず、災害の種類に応じ、救援物資の集積、救助活動等の拠点なども防災機能と考えられるところです。</p> <p>今後の候補地の選定につきましては、持続可能な道の駅とするべく、関係団体・機関等との協議や調整を行っていくことが大切であることから、慎重に進めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、毎年のようにどこかで自然災害が起り、河川の氾濫、地震による津波等の被害が出ているため、表3-4.7.9の評価に対し疑問が残るのはおかしいでしょうか。表3-7で防災拠点のポテンシャルの配点状況を見ると、津波被害で7.5点の評価をしている候補地として候補地番号1,7,4他がある。国土地理院が公開している地図で標高を調べると、1.空港（51.7m）、7.久城インター（1.8m）、4.北部区画整理地内（1.4m）となっている。この結果から、7.4は災害時、防災拠点として機能しないことが考えられるのですが、7.5点の評価点の説明をお願いします。</li> </ul>	<p>ご指摘の箇所につきましては、基本構想案の3-5ページにありますとおり、津波被害からの安全性において、「津波被害想定区域外」（5点）、「区域内に近接」（3点）、「区域内」（1点）という3区分による評価点に、重み係数をかけ算出を行っております。</p> <p>なお、津波被害想定区域につきましては、島根県が設定しております津波防災地域づくりに関する法律に基づく津波浸水想定図を基にしております。</p>

3.機能・施設に関するもの

ご意見の内容	市としての考え方
<p>2-3 道の駅が担うべき役割</p> <p>オール益田を実現できるかがポイントになります。</p> <p>(産業振興・観光振興の課題)</p> <p>(1) 農産品 (J A) 海産物 (J F) 酒 (醸造元)</p> <p>(2) 農業体験 (野菜の収穫) 漁業体験 (地曳網、島での釣り)</p> <p>(3) 脚本家作成の益田ミステリーツアー</p> <p>(道の駅に必要な機能)</p> <p>(1) 温泉</p> <p>(2) ドッグラン</p> <p>(3) キャンピング場</p> <p>(4) 観覧車 (日本一)</p> <p>(5) 農作物指導、酒作り指導、高島への渡し船、乳製品作り</p> <p>(6) 各名所へのオリジナルツアー</p> <p>(7) 能面、神楽面などの文化伝承教室</p> <p>(8) 地酒・地ビール・和牛ステーキ・焼肉</p> <p>(9) トマトベースのパン・ピザ</p> <p>(10) メロン・イチゴをベースにしたスイーツ</p> <p>◎地域振興施設の追加</p> <p>島根県の策定している動物愛護管理推進計画の施設、平成24年3月完成の動物愛護棟 (出雲市) の補完施設として、益田道の駅 (動物愛護棟 益田分室) の設置と地元住民及び観光従来者の同伴犬の遊び場 (ドッグラン) の設置を望みます。動物愛護にやさしい町として全国発信出来ます。ドッグランについては、成功している道の駅もあると思いますが、愛護棟については、私が島根県のモデル事業の平成27年度モデル地区として県より設定を受け、高町自治会の事業として、T.N.Rを県西部としては3件目 (浜田港、美都町、高町) として実施した経験から、高齢者の動物を飼育する場合の支援体制の構築とT.N.Rを実施後も対応出来ない問題点の解決方法として、県の理解の得られる事業と確信します。補完施設であり特殊施設 (手術設備等) は不要であり、少ない予算で設置可能と判断します。</p> <p>・集客したい、来て頂きたい人々の対象が見えないのですが、子ども連れの家族やご高齢者は、少なくとも主な対象となると考えます。そこで以下を提案します。</p> <p>提案①整備コンセプト (2-4-(2)) のサブタイトルにもう一つ、「ふれあいをつなぐ場」を掲げて頂きたいと考えます。その具体例として、「小動物とふれあえる場」、身近な小動物といつでもふれあえる場、ウサギ、犬や猫、鶏、山羊、羊、・・・。大規模な施設はいらないでしょう。日常の延長で、小動物と、ちょっとしたふれあいが出来る場、高齢者と小動物とのふれあい、子ども達に人気のウサギや犬で、家族づれの来訪も期待出来ます。また、山羊は、繁殖させて、草刈りの代わりに貸し出しを行ったり、乳を活用したり、いろいろ展開が期待できます。道の駅で小動物園を併設している例はあまりないと思いますが、様々な人々が集い・ふれあう場には最適ではないでしょうか?</p> <p>益田市には、美味しい食がたくさんあります。個々の食を取り上げるのではなく、広く・深く「テーマ」を決め、そこから発展・展開させていく方がより良いと考え、以下を提案致します。</p> <p>・提案②“食”とありますが、多種多様な食があります。そこで、目先を変えて、“食”の底辺・深部を探りました。『だし (ダシ、出汁、煮出汁)』をテーマにします。「ダシ」は料理の基本中の基本です。どんな料理にも「ダシ」を使います。簡単・単純ですが奥が深い『食』です。近年、和食がユネスコ無形文化遺産に登録され、和食の「ダシ」も注目を集めています。益田市には山もあり、海もあり、川もあり、里もあります。「ダシ」を地域活性化策の一つに掲げているのは、かつお節で有名な鹿児島県です。「出汁の王国プロジェクト」として推進しています。鹿児島県のかつお節には及びませんが、益田市近在でとれる、煮干しや干し鮎、ハマグリ、シジミ、シイタケに代表されるキノコ類、野生のイノシシ肉、ツガニ等々、様々な「ダシの基・ダシの宝」が多く存在しています。また、中世の食で有名になった干しアワビや干しナマコのダシなど、古代・中世のダシ、海外のダシ等珍しいダシもあります。</p> <p>益田市には、有名なシェフや世界料理研究家、板前さん、郷土料理家等が多くの方が居られます。また、食生活改善委員や料理店、企業、教育機関等、食に関わる多くの方が居られます。その人達を巻き込み、学術研究や食育、イベントなどで、益田市の「ダシ」を周知・認知させ、益田市を「ダシ」の市 (まち) として、益田市の「ダシ」=「ますダシ」をテーマとした“食”を戦略的に、研究・活用・実施・展開していけば、関連産業の振興、インバウンド客への対応等、多くの成果が期待出来ると考えます。</p>	<p>この度策定を行う、益田市道の駅整備基本構想につきましては、道の駅に関するコンセプトの設定、候補地の検討を主としております。</p> <p>新たな道の駅において持たせる機能や、整備する施設については、今後実施を予定する道の駅整備基本計画等において、この度いただきましたご意見等を参考にさせていただきながら、具体的な検討を行ってまいります。</p>

- 基本構想（案）に、「地産商品の販売」「地域のPR」が書かれているが、すでに地元スーパー等で実施されている機能まで持つ必要はない。
- 将来（現在も）の高齢化に向け必要とされる山間地域住民の交通手段のHUB機能を併せて持つ施設にするべきである。
  - ・市内主要施設への循環バスと中山間地域への送迎バスの運行サービス。
  - ・乗り継ぎ時間の休息施設（簡易な図書設備・喫茶食事）
  - ・市役所住民窓口 ・ATM ・コンビニ

#### 4.ワークショップ・市民アンケート等に関するもの

ご意見の内容	市としての考え方
<p>・パブリックコメントの実施や、ワークショップの実施がなされているが、事業規模によってコメント件数、参加者数等に大まかな最低ラインを設定すべきではないかと思う。</p> <p>・少ない件数、少ない参加者でもやったやったでは、先に計画ありきの裏付けを取るに過ぎないのではないか。内容にも、事業規模にもよるが、対外的影響も大きく市民全体で盛り上がってゆく事業を進める場合は、このパブリックコメントや、ワークショップのあり方を今からでも再検討してほしい。</p> <p>・市民アンケート</p> <p>・アンケート結果（全戸に対して799の回答）が何を意味するのか。回収率の提示がないのはなぜか。提示できない理由があるのか。提示する理由は現段階での市民の道の駅に対する関心度および道の駅建設に対する推進などの状況がわかるのではないか。</p> <p>・アンケートの内容が建設ありきでの内容だったと記憶するが、アンケートについて建設の可否も載せるべきではなかったのか。加重平均による評点の意味がわからないのではないか。また、他の項目は割合で書いてあり違いが不明。アンケート結果については先で述べたように全戸に対して799の回答という状況で市民全体の声としてもいいものか。無作為に全市民に対する1割にアンケートを取るなどの方法を行ったほうがよかったのでは。</p> <p>・ワークショップについて</p> <p>・全人口に対する参加人数を考えて意味があるのかという数字のように感じる。イメージ的なことをやったのだと思うが、広く知らせるのであれば各地区振興センターにて開催した方がよかったのではないか。</p> <p>・調査案件の良好に運営しているものが多いのでは？また、市民等の意見反映数が少なすぎる。（ワークショップは、関心のある人々のみ参加しているので、意見としては参考にならない。）</p> <p>・整備コンセプトの調査アンケートは「道の駅」ありきで進められていますが、この施設が要る、要らないをまず問うべきと考えますが如何でしょうか？</p> <p>・ヒアリング調査の回答に「魅力のある駅長の存在が成否の鍵」「経営には商売のプロが参画すべき」とあるように、流通業界の経営者の厳しい視点が必要です。販売に直接携わってない団体の声が多く、そのためか、経営に対する見方が全体に甘い。流通業界などの経営者の声を聞く機会を設けなかったのはなぜですか？</p> <p>・一般に構想や計画を作成するにあたって、市民アンケートやワークショップが実施されます。今回の市民アンケートは市民全員が参加できる方法をとっていますが、設問が「建設ありき」の内容で、関心のない人、あるいは建設反対の人はパスした可能性が強く、逆に参加した人800人は関心のある人に偏っているのではないか。普通は統計的手法によって1000人程度を抽出してアンケートを実施しますが、なぜ、民意をより正確に反映できる統計的手法を採用しなかったのですか。設問もまず、建設の賛否を問い、反対の場合はその理由についての設問をすべきではないでしょうか。</p> <p>・ワークショップも「道の駅ありき」で進められています。「採算は採れるのか」「将来お荷物にならないか」「民業圧迫にならないか」「他の集客施設との競合にならないか」など想定される問題点を洗い出し、そのうえで構想を練れば、基本計画を作るにあたって道筋がはっきりと見え、説得性のあるものになったと思います。1章、2章において、こうした手法をとらなかったのはなぜですか。基本構想を読んで、道の駅の必要性に対する説得力がないのも「道ありき」で組み立てられているからではないでしょうか。</p>	<p>市民アンケート、ワークショップ等については、広く市民の皆様のご意見等を伺うために実施をさせていただきました。アンケートについては、市広報への折込（配布部数約20,500）、市ホームページ、告知端末等でお知らせをさせていただきました。広くご意見をいただければという思いから、事前抽出を行いませんでした。また、ワークショップについては、市ホームページ、告知端末等でお知らせをさせていただきましたが、年末・年始の実施となったこと、また基本的に全3回の開催の全回への参加をお願いしたこともあり、結果的には気軽に参加しにくい部分もあったことと存じます。</p> <p>ご指摘いただきました点を踏まえ、今後同様の調査等を実施する際には、よりよい方法を検討してまいります。</p> <p>なお、加重平均についての説明文を加えました。</p>

5.事例調査に関するもの

ご意見の内容	市としての考え方
<p>・先行事例の動向調査</p> <p>・成功事例のみの抽出となっているが、それがなぜ成功したのかなどの説明がないが、益田にそれがあっているのかはまだ考えないのか。また、失敗事例については検討していないのか。調査対象の中に深刻な赤字を抱えている道の駅があると思う。近いところで、同じ国道沿線の田万川、三隅、浜田、日原の状態も考察すべきではないか。</p> <p>・今ある市内の2つの道の駅の運営がうまくいっているのかも気になる。うまくいっているならそこに見習うことができるのではないかと考えるが、調査対象にも入っていないというのはいかがなものか。</p> <p>・逆にうまくいっていない状況ならそこを立て直さずにして次を建設するのはいかがか。地域性が違うにしろ2つの道の駅についても状況報告も資料にのせるべきではないか。</p> <p>・質問④益田市近郊には、数カ所の道の駅がありますが、それらについての調査・検討は行われたのでしょうか？</p> <p>・山陰道が全線開通した時、どこからどこへ行く車両が多いのか、調査はされたのでしょうか？益田地区は、通過地点に思われる。</p> <p>・近所の「日原」「田万川」の数値分析が、明記されていない。</p> <p>・P1-4(2)「道の駅整備事業」は「基本目標1：定住の基盤となるしごとをつくる」の実現に向けた施策の一つに位置づけられる…とありますが定住の基盤となるためには道の駅が持続可能な事業でなければなりません。P3-12評価結果には、持続可能な道の駅の整備に向け…とありますが、しかし、</p> <p>・基本構想を読んで、持続可能な事業だと確信を得ることはできません。</p> <p>・参考事例は成功事例だけで、失敗事例の検証がありません。採算の取れていない道の駅の方が多くにも関わらず、です。</p> <p>・「山陰道三隅・益田道路の開通という環境変化をチャンスと捉え」と書いてあるが、三隅・益田道路の開通による高速と一般道における交通量や観光動向にどのような変化がもたらされるのですか？浜田―三隅間の開通で三隅の道の駅はさびれたと聞いていますが実情についてどのように認識していますか。将来、益田―萩間が開通したら、益田は通過点となり、一般道に立ち寄る車は減少するのではないのでしょうか。開通後についてどのような予測を立てているのですか。</p> <p>・基本構想を策定するにあたって、当然、県内や山口県など近隣の「道の駅」の運営形態や経営状況について調査は実施されているものと思います。調査結果をできる範囲で公表していただきたい。</p> <p>・国道9号線沿いの「道の駅」のうち、浜田市、出雲市など山陰道開通により集客面でどのような影響をうけているのか、また、これから開通する出雲市、江津市、大田市、萩市、阿武町などは影響についてどのような見通しを立てているのか、当然、意向調査が実施されていると思いますので、その結果を公表していただきたい。</p>	<p>益田市道の駅整備基本構想資料編に、先進地の事例調査として現地調査を行ったものについて掲載を行いました。</p> <p>その他の近隣の道の駅などの状況等については、自治体からの財政支出の有無など調査を行っている箇所もございますが、運営主体が民間である場合等、経営などに関する詳細なデータの把握が困難な場合もございます。持続可能な道の駅整備に向け、今後も引き続き情報の収集等に努めてまいります。</p>

6.運営・経営に関するもの

ご意見の内容	市としての考え方
<p>・道の駅は基本的には核としては商業施設が担うことになると思う。そうしたことから商工会議所、民間企業からの意見集約、コンセプト等を十分に検討を行い、支持、参加が盛り上がるようにしていただきたい。マーケティングは企業の専門とするところ。その結果は真摯に受け止めるべき。</p> <p>・行政主導で建物ができて、企業が経営ベースにのらないと判断したら引き上げるのは目に見えるし、企業として当然の行動。もしそれでも経営継続を願うなら公的な支援が増大・継続するのは明確である。例えば、「イーガ」の空き店舗問題。かつては「ピービー益田」の廃止等もこうしたことになるのではと思う。</p> <p>・これまでの公設民営の問題が色々ところで表面化している。第3セクターや指定管理委託施設の問題がある。これは結局最初のところでのこの施設は、観光のためなのか、市民福祉のためなのか、働く場を創設するためなのか、教育施設なのか、そして公的な責任はどう具体的に考えるのか等を十分検討を行い、官民の役割分担を明確にしてこなかったツケだと思う。これは経営・運営の無責任化ひいては財政の悪化を招く。</p> <p>・この先人口減少が進む中、農業・漁業に従事いただける方がいるか、地産地物がどれだけ確保できるか、赤字になった際の責任は誰がとるのか。</p> <p>・多額の税金を使って、赤字になれば、だれが責任をとるのか。道の駅は赤字経営のところが多いという事は、この段に及んでご存じなはず。</p>	

・経営状態（三セクや公設民営など）や駅長の選出を考え、その運営方針に沿う場所に建設しなければ健全運営できないのではないかと？

・道の駅を含めてや、ありきで考えるのではなく、現段階の状況がわからない。これらがわかっていないと綺麗事にしか聞こえない。例えばトマトやメロンなどの益田市を代表とするものの県別生産量、益田産の魚やハマグリ漁獲高や出荷量などのデータ（益田市が全国でどの位置にあるかなど）を掲載し、市民にわかりやすく説明できるようにし、道の駅でどんどん売り出す状況なのかを明確にしたほうがいいのでは。

・質問⑤道の駅の役割として、地域産物の直売所等が述べられていますが、益田市には、従来から地産地消を行っているスーパー等があります。これら競合施設の調査・検討は行われたのでしょうか？

・パブリックコメントの意味が分かりません。キヌヤとかに、地の物のコーナーが有りますが、そのかねあいとかが、どうなりますか？  
従業員にシルバーの人も使ってほしい。

・採算は採れるのか、よく検証しているのか。

・赤字になった時にどうするのですか。にもつになります。

・「道の駅ありき」で話が進められているが、多くの道の駅が経営に四苦八苦しています。

・「本当に必要なのか」「採算は採れるのか」「将来お荷物にならないか」経営の見通しを示していただきたい。

・開業後の運営費については、どのように検討しているのか疑問が残る。

・開所までや開所後の金銭的見込みが、明記されていない。

・基本構想を読む限り、この道の駅を作ることで生まれる経済的効果も、あるいは抱える負担やリスクも、把握することができません。

・益田市が、すなわち私たち益田市民が、どれだけ負担とリスクを抱えるのか、本当に持続可能な事業になるのか、市民に分かるように示して下さい。

・基本構想には「益田市には、地元で生産された新鮮な農畜産物、朝とれの魚介類、高津川の鮎など自慢の食材とそれを育む豊かな自然がある」とありますが、浜田や山口県産の魚介類を扱うようでは益田の「道の駅」とは言えません。鮎も近年、漁獲量が減り、市民の口からは遠のいている。ハマグリも市民の口には入りません。農産物も市内のスーパーが地元の生産物を扱い、地産地消を進めている。この上、新たな大型販売店ができれば、既存の販売店と競合し、商品の奪い合いが生じかねません。第一次産品の生産力（供給力）について、現状、及び今後の見通しについて示していただきたい。

・将来の高速道開通による影響は十分に検証すべき。

・益田市産の第1次産品だけでは魅力に乏しい。既存店と競合しないかたちが望ましいと思う。

・全国にある活況の道の駅は目的地ともなる場所であり、魅力的なロケーションやラインナップを策定し、手を打つことの方が得策と考えます。最悪地元住民が集まるテナントにて採算のとれる事業計画を進めると尚いいのではないのでしょうか。

この度策定を行う、益田市道の駅整備基本構想につきましては、道の駅に関するコンセプトの設定、候補地の検討を主としております。これまでの経過としては、平成27年度において道の駅整備に関する概略調査を実施し交通量等の検討を行ってまいりました。

経営、運営主体等につきましては、持続可能な道の駅とするべく、調査・検討を行い、また、この度いただきましたご意見等を参考にさせていただきながら、今後実施を予定する道の駅整備基本計画等において、お示しをさせていただきます。

7.他の計画との関わりに関するもの

ご意見の内容	市としての考え方
<p>・5つの基本方針について</p> <p>・①特徴ある農林水産物の基盤強化、②こだわりの益田ブランドを推進とあるが、道の駅建設以前に推進して結果が出てなければならぬのではないかと。現段階で市内では消化しきれないほどの食料が確保されているのか。生産性などの数字が全く見えてこない。</p> <p>・③市内の産業構造や基盤を強化、④産業の創出や起業支援とあるが、道の駅で販売を予定している商品群を現在店舗により販売をしている企業には計画について説明や意見を求めたりしているのか。それによる民業圧迫については考慮されているのか。</p> <p>・⑤観光・交流の促進とあるが、益田市が現在観光地として有する施設などについての観光客数や来場者数を把握しているのか。また、その観光地について大型バスの乗り入れが可能なのはいくつあり、未整備の場合は、道の駅建設と同時に整備をするのか。</p> <p>・総括として書いてあることについて、道の駅建設以前にやっておかなければならないのではないかと。</p> <p>・質問②基本構想（案）は、益田市総合振興計画、まち・ひと・しごと創生益田市総合戦略、益田市観光振興・M i c e誘致計画等との整合性が求められると書かれていますが（1-2-2（2））、これら三つの計画を、市民が知っているとお考えなのではないかと？</p>	<p>基本構想案1-3ページに掲げておりますのは、第5次総合振興計画後期基本計画において、「基本目標Ⅲ 地域資源を活かした産業が息づくまち」の実現に向けた5つの基本施策となります。</p> <p>本市における各計画に基づき、地域産業の振興、観光の振興の推進を図るため、また、本市の抱えるまちづくりにおける主要課題の改善にこの道の駅整備は資するものと考えます。</p> <p>整備に向けては、この度いただきましたご意見等も参考にさせていただきながら、持続可能な道の駅とするべく、慎重に検討を行ってまいります。</p>

8.事業そのものに関するもの

ご意見の内容	市としての考え方
<p>・積み残してきた多くの課題を解決もせず、また、現在建設中の大型小売店舗の開店による、中規模店舗も含めた小売店などが悲鳴を上げざるを得ない、厳しい状況下に今、正になるのかという中で、「当該構想(案)」が進められていることに大きな非道を感じる。歳入の過少な益田市が、2億～4億も投じて行う事業なのか。断固反対であり、投資する精神が理解できない。</p> <p>・どの候補予定地にもガソリンスタンド、トイレ、駐車場、休憩ができる施設が近くにある。飲食店も市が費用をかけて建設しなくても、地域に需要ができれば、民間が自ずと出店してくる。コンビニが駅代わりになってもいいと思う。</p> <p>・質問①基本構想(案)全体において、理論のみで具体案が全く示されていません。「道の駅」が必要という意識が低いのではないですか？</p> <p>・質問③基本構想(案)において、道の駅整備の目的がはっきりしていないのでは？(1-2)観光振興と地域振興の実現の為ですか？それらは、道の駅でないと出来ませんか？</p> <p>・市内スーパーが地元の生産物を扱う地産地消を進めている中、道の駅を莫大なお金をかけて建設する必要はあるのか。若者は道の駅では買い物をしたくないと思う。トイレ休憩に利用するだけ。</p> <p>・地産地消でスーパーで行っているのに、とても賛成出来ない。</p> <p>・予定の場所では市民の人あまり利がない。</p> <p>・持石海岸をもっと活かして公園を使い、その上に道の駅をつくる。</p> <p>・P1-3(1)益田市総合振興計画「基本目標Ⅲ」(地域資源を生かした産業が息づくまち)の実現に向けた施策の一つに位置づけられる…とありますが、この計画が意図するのは新たに建物・施設を作ることではないはず。むしろ、今ある建物や施設(それらは地域資源でもあります)を生かし、創意工夫して新たな価値を生み出すことが期待されているのではないのでしょうか。道の駅がなくても益田ブランドを推進することはできますし、地産食材の販売に力を入れているお店や会社(これらも地域資源です)を支援することも有意義だと思います</p> <p>・駅前ビルEAGGAには空き店舗が多数あります。埋まる見込みはあるのでしょうか？ピービーお魚センターは持続できませんでした。美都の「道の駅」の運営は安定しているのでしょうか？</p> <p>・これまでの施策のなかでうまくいっていない事業をきちんと検証してください。そして、これ以上、子どもたちに負の遺産を授けないで下さい。ガラガラの箱モノから、私たちは、そして子どもたちも、希望に輝く益田を感じることはありません。</p> <p>・安易に、理想だけを並べて事業を起こすのではなく、事業主体として継続して責任がもてるかどうか慎重に考えたならば、整備中止が賢明な判断だと思います。</p> <p>・益田市「道の駅」整備基本構想(案)を読んで「道の駅」建設は事業として決まっているのですか？</p> <p>・整備目的と位置づけ中で益田市総合振興計画と重ね合わせて、当計画の基本目標Ⅲに位置付けしてある。当計画が策定6年を経過するも一向に具体施策がされていないと感じています。あまりにも総花的、安直過ぎませんか？</p> <p>・以前より「益田は大型バス2台観光等に来てもトイレの設備が無い」と発信する人達がありました。約3年前頃の市議会一般質問にこの関連の発言があったと記憶します。それが発展、又他市とのパランス等から「道の駅」に発展したように思います。</p> <p>・「中世を生かしたまちづくり」を考える中で、トイレ等を備えた緑豊かな市民の(イベント)広場を適地に求める事は出来ないものか？それには四半世紀言い続けた「歴史を生かしたまちづくり」の骨格がまず必要と考えますが。</p> <p>・過去、益田市ピービーセンターの倒産の例もあり、本当に誰がどのようにして責任をもつかなど深考が必要だと思います。負の遺産を次世代へ残すことは許されません。</p> <p>・「三隅・益田道の整備効果を最大限に活かし、観光振興と地域振興の実現を図るために道の駅を整備することが有効で、そのための基本的な方向性、整備候補地をとりまとめた」とありますが、「有効」とした根拠について説明していただきたい。</p> <p>・市民アンケートでは行きたくなる道の駅の条件のトップが「スーパー並みの品揃えで買い物ができる」。次いで「新鮮な農産物を買うことができる」。また、あれば良いと思う施設・機能として挙げているのが「特産品直売所」と「食堂・レストラン」が圧倒的です。つまり商業施設としての期待が高い。情報発信機能や休憩機能は市が担わなければならないとしても、商業施設を市の優先事業として取り組まなければならないのでしょうか。採算性があるのなら、民間に任せたらどうですか。「民主導」のプロジェクトとして「官」は支援する立場に徹すべきではないでしょうか。「官主導」でうまくいかない場合、市は相当の労力と予算をつぎ込まなければなりません。その“つけ”は市民が担うことになります。</p>	<p>本市における道の駅整備は、第5次総合振興計画後期基本計画において、「基本目標Ⅲ 地域資源を活かした産業が息づくまち」の実現に向けた施策の一つとして位置付けられております。</p> <p>道の駅は当初、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供等を目的に制度が開始されました。近年では単に道路利用者へのサービスのみならず、農業・観光・福祉・防災・文化等地域の個性を活かした様々な取組みが見られ、地方創生に向けた拠点施設としての役割が期待されております。</p> <p>本市における新たな道の駅は、平成28年度の浜田・三隅道路全線開通や、平成30年代前半と予想される三隅・益田道路の開通により産業物流、地域医療等の環境向上が見込まれ、企業誘致や大都市圏からの来訪者増など産業・集客交流における可能性が広がる一方で、当市内での消費行動の他地域への分散、当市が単なる通過点になるストロー現象等が懸念されることから、広域的な集客交流拠点として整備を行うことにより、市内農林水産物の販売促進に併せ、交流人口の拡大を図ることで、地域のみならず市全体の活性化に寄与するものと考えております。</p> <p>整備に向けては、この度いただきましたご意見等も参考にさせていただきますながら、持続可能な道の駅とするべく、慎重に検討を行ってまいります。</p>

<p>・道の駅を作る事で周辺の商店への影響があるのではないかと考えについては、バイパスが整備されれば県外・市外からの通過者は更に益田に目を向けなくなり、何もしなければ自然体で衰退するのではないのでしょうか。</p>	
<p>・基本構想に「既往調査により整備される方向性」の項目で「益田市では平成27年度において益田市道の駅整備基本構想作成業務」を実施したとありますが、だれが、どのように実施したのですか。</p>	<p>基本構想案の1-2ページにありますご指摘の箇所につきましては、「道の駅整備に関する候補地概略調査」の誤りですので、お詫びして訂正をさせていただきます。</p>

9.その他

ご意見の内容	市としての考え方
<p>・益田市の活性化を図るための、市内の開発が中途半端のままであり、優先してすべきことがあるのではないかと。</p> <p>・企業や大学の誘致などはどうなのか？観光対策は？蟠竜湖の活用は？</p> <p>・市議会も納得しているのでしょうか。</p> <p>・海、山、歴史、文化施設、運動施設、いろいろ分散しているので、それぞれのICで既存の建物、駐車場を利用しながら魅力を発信できないだろうか。</p> <p>・鎌手、遠田、持石は海をメインに、地域の人も運営に、利用に便利な商品、食品をおく。久城、中吉田は市内の施設への移動の中心となるようにする。</p> <p>・現在の商業施設を含めて、新しいものはなるべくつくらないように考える。益田川沿いに人の移動を考慮すれば新たな魅力になる。空港周辺は道路も風景も良いので、益田市で盛り上がっている自転車に特化する。</p> <p>・建設費や、土地取得などの問題に頭を悩ますより、益田市全体で盛り上がっていく方法を考え実践したい。</p> <p>・絶対反対します。なぜ今さらって思います。県内それぞれの道の駅がどんな状態ですか。運営上いいって所があるのでしょうか。どこも四苦八苦していると聞いたりしていますが。</p> <p>・横文字を使って、年寄りには意味が分からない。もう少し市民、誰もが理解出来る様に。</p> <p>・益田市が、現在取り組みつつある事業（三宅御土居、中須東原遺跡等整備、石見空港対策等）を優先的に整備すべき。</p> <p>・ピーピー益田を、失敗させた総括がされていない。</p> <p>・アンケート回答者の傾向をみると、海産物や農産物の特産品販売の期待が大きい。どこの「道の駅」も第一次産品の販売が“売り”。特に海産物は人気ですが、益田産の魚介類を安く大量に提供できるのでしょうか。石見空港開港に伴い海産物を販売する益田市特産品センターが開設されましたが、3億円もの赤字を抱えるなど当初の狙いが大きくはずれました。なぜ、失敗したのか、どのように総括していますか？お聞かせください。同じような失敗が繰り返されないとは言切れません。</p>	<p>本市における新たな道の駅は、平成28年度の浜田・三隅道路全線開通や、平成30年代前半と予想される三隅・益田道路の開通により産業物流、地域医療等の環境向上が見込まれ、企業誘致や大都市圏からの来訪者増など産業・集客交流における可能性が広がる一方で、当市内での消費行動の他地域への分散、当市が単なる通過点になるストロー現象等が懸念されることから、広域的な集客交流拠点として整備を行うことにより、市内農林水産物の販売促進に併せ、交流人口の拡大を図ることで、地域のみならず市全体の活性化に寄与するものと考えております。</p> <p>整備に向けては、この度いただきましたご意見等も参考にさせていただきますながら、持続可能な道の駅とすべく、慎重に検討を重ねてまいります。</p>
<p>・パブリックコメントの意味がわかりません。本当に道の駅もあちこちどこにもありますが、一時的なものではないのでしょうか？益田市は色々大変な事ばかり、お金も無いのに市民の事も良く考えて下さい。</p> <p>・パブリックコメントの意味が分からない。</p> <p>・道の駅はゴミ捨て場になるだけではないのか。</p> <p>・パブリックコメントの意味が分からない。ピーピーの道の駅はどうなったのですか。こたえて下さい。</p> <p>・パブリックコメントと言う事はなんですか？ピーピーセンターはどうなっているのですか。道の駅ありきでつくって市民のお金をつかうのですか。トイレに行くのとゴミが多いのでどうするのですか？</p>	<p>パブリックコメントにつきましては、益田市パブリックコメント実施要綱にて、政策形成過程における市民の参画の機会の提供、多様な意見及び情報の把握とともに、その過程を示すことによる行政運営の透明性を図り、市民等との協働によるまちづくりの実現を目指すものとされており、市民生活又は事業活動に重要な影響を及ぼすと認められる計画等の策定過程において、その計画の趣旨、内容を公表し、これらに対する市民の意見等を政策に反映させる機会の確保と、寄せられた意見等に対し市の考え方を公表する一連の手続きを指しております。</p>
<p>・今後のスケジュールを示していただきたい。</p> <p>・基本構想及び基本計画策定にかかる費用と今後見込まれる総事業費を提示していただきたい。</p>	<p>基本構想策定経費につきましては、約6,000千円、今後実施を予定する基本計画策定経費につきましては、約12,000千円となっております。見込まれる総事業費につきましては、あくまで現時点での想定で、1,500,000千円程度（中期財政計画）を見込んでおります。</p> <p>適切な施設規模の検討、様々な補助金の活用等により、市の財政負担の軽減もあわせて取り組んでまいります。</p>